



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社明電舎 上場取引所 東・名  
 コード番号 6508 URL <https://www.meidensha.co.jp>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 三井田 健  
 問合せ先責任者(役職名) 広報・IR部長 (氏名) 水谷 典雄 (TEL) 03-6420-8100  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	36,165	△5.2	△3,021	—	△2,951	—	△2,156	—
2020年3月期第1四半期	38,151	△1.8	△3,642	—	△3,745	—	△2,196	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,495百万円( —%) 2020年3月期第1四半期 △3,278百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△47.53	—
2020年3月期第1四半期	△48.40	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	255,458	87,421	33.1
2020年3月期	270,410	90,117	32.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 84,485百万円 2020年3月期 87,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	87,000	△7.4	△5,400	—	△5,600	—	△3,900	—	△85.96
通期	236,000	△7.7	7,000	△45.0	6,600	△42.5	4,700	△42.7	103.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	45,527,540株	2020年3月期	45,527,540株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	157,145株	2020年3月期	157,093株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	45,370,435株	2020年3月期1Q	45,371,450株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における、わが国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、景気の悪化が鮮明なものになりました。また足元でも、日本を含む多くの国において、感染者数の増加ペースが再び上昇傾向にあるなど、先行きの不透明感が拭えない状況が継続しております。

本年5月13日に発表いたしました当社の2021年3月期の業績予想においては、「本年7月以降、事業活動が段階的に正常化する」という前提条件を設定し、想定しうるリスクを織込んで策定しております。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりです。

当社グループでは、電力会社や官公庁向けの各種電気設備や、自治体向け浄水場・下水処理場向け電気設備等において、年度末に売上高が集中する傾向があります。そのため、例年、第1四半期の売上高については、年間の実績値に対して相対的に低い水準にとどまっております。

(単位:百万円)

	2020年3月期 第1四半期累計期間	2021年3月期 第1四半期累計期間	増減額	増減率(%)
売上高	38,151	36,165	△1,985	△5.2
営業損失	△3,642	△3,021	621	—
経常損失	△3,745	△2,951	793	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失	△2,196	△2,156	39	—

セグメント別の状況は次のとおりであります。売上高につきましては、セグメント間の取引を含んでおります。

なお、当社は2020年4月1日付で明電ナノプロセス・イノベーション株式会社を設立したことに伴い、当該事業のセグメント区分の変更を行っております。以下、前年同期比較については、当該変更を反映した前年同期の数値を用いております。

## ① 社会インフラ事業セグメント

海外変電において、新型コロナウイルスの影響に伴う案件の進捗遅れ等があったものの、水インフラ分野をはじめとする国内の工事進行基準対象案件の売上が堅調に推移したこと等により、前年比では増収増益となりました。その結果、売上高は前年同期比14.2%増の21,545百万円、営業損失は1,391百万円改善の1,916百万円となりました。

## ② 産業システム事業セグメント

電子機器分野では、半導体市場が回復傾向にあることで前年比増収増益となった一方で、EV事業において、自動車関連市場の落込み等による減収、新設ラインの量産開始に向けた先行費用の発生等により、前年比減益となりました。その結果、売上高は前年同期比32.1%減の8,508百万円、営業損失は641百万円悪化の522百万円となりました。

## ③ 保守・サービス事業セグメント

BCPや省エネ対応、設備延命化需要の高まりはあるものの、新型コロナウイルスの影響により民需向け案件を中心とした発注延期、計画中止、予算見直し等が発生し、売上高は前年同期比7.8%減の4,680百万円、営業損失は80百万円悪化の510百万円となりました。

## ④ 不動産事業セグメント

売上高は前年同期並みの865百万円、営業利益は3百万円改善の357百万円となりました。

## ⑤ その他

報告セグメントに含まれない事業において、新型コロナウイルスの影響に伴い事業環境が悪化したこと等から、売上高は前年同期比15.3%減の3,691百万円、営業損失は152百万円悪化の92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」）比14,951百万円減少し、255,458百万円となりました。

流動資産は、前期末に計上した売上債権の回収が進み、前期末比17,429百万円減少の139,129百万円となりました。

固定資産は、設備投資による建設仮勘定の増加、及び保有する上場株式の市場価値上昇に伴う投資有価証券の増加により、前期末比2,477百万円増加の116,329百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少により、前期末比12,255百万円減少の168,037百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び剰余金の配当に伴い、前期末比2,696百万円減少の87,421百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末の32.2%から33.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの事業は、電力会社や官公庁向けの各種電気設備や、地方自治体向けの上下水処理設備等において、年度末に売上が集中する傾向がございます。そのため、当第1四半期連結累計期間につきましては、売上高は年間の数値に対して相対的に低い水準にとどまり、また損益についても大幅な損失を計上しておりますが、業績は概ね予想通り推移しており、2020年5月13日に公表いたしました業績予想については、変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,272	21,381
受取手形及び売掛金	88,565	49,135
電子記録債権	7,233	10,395
商品及び製品	4,445	4,755
仕掛品	33,291	41,313
原材料及び貯蔵品	5,468	6,164
その他	4,404	6,092
貸倒引当金	△122	△109
流動資産合計	156,558	139,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	38,071	37,478
機械装置及び運搬具(純額)	10,074	9,716
土地	12,960	13,027
建設仮勘定	5,534	7,131
その他(純額)	4,633	4,574
有形固定資産合計	71,274	71,928
無形固定資産		
ソフトウェア	5,449	5,305
のれん	3,976	3,679
その他	766	755
無形固定資産合計	10,192	9,740
投資その他の資産		
投資有価証券	14,104	15,263
長期貸付金	33	35
繰延税金資産	16,039	16,506
その他	2,246	2,893
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	32,385	34,660
固定資産合計	113,852	116,329
資産合計	270,410	255,458

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,966	23,056
電子記録債務	5,637	4,665
短期借入金	10,063	10,103
コマーシャル・ペーパー	3,000	3,000
未払金	5,744	5,425
未払法人税等	1,692	207
前受金	12,487	20,142
賞与引当金	7,563	3,962
製品保証引当金	1,372	1,287
受注損失引当金	933	987
その他	16,559	15,677
流動負債合計	101,022	88,516
固定負債		
社債	11,000	11,000
長期借入金	21,931	21,686
退職給付に係る負債	41,824	42,345
環境対策引当金	399	388
その他	4,115	4,100
固定負債合計	79,270	79,521
負債合計	180,292	168,037
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	17,070	17,070
資本剰余金	11,402	11,402
利益剰余金	55,604	52,314
自己株式	△188	△189
株主資本合計	83,887	80,597
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,109	4,916
繰延ヘッジ損益	5	5
為替換算調整勘定	257	16
退職給付に係る調整累計額	△1,148	△1,049
その他の包括利益累計額合計	3,223	3,888
非支配株主持分	3,005	2,935
純資産合計	90,117	87,421
負債純資産合計	270,410	255,458

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	38,151	36,165
売上原価	29,845	27,737
売上総利益	8,305	8,428
販売費及び一般管理費	11,948	11,449
営業損失(△)	△3,642	△3,021
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	338	262
受取賃貸料	25	26
持分法による投資利益	18	—
その他	166	103
営業外収益合計	558	402
営業外費用		
支払利息	221	128
為替差損	156	34
出向者関係費	53	39
訴訟関連費用	132	5
その他	96	125
営業外費用合計	660	333
経常損失(△)	△3,745	△2,951
特別利益		
段階取得に係る差益	365	—
特別利益合計	365	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,379	△2,951
法人税、住民税及び事業税	46	94
法人税等調整額	△1,191	△875
法人税等合計	△1,144	△781
四半期純損失(△)	△2,234	△2,170
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△38	△13
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,196	△2,156



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△2,234	△2,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△866	807
繰延ヘッジ損益	△4	0
為替換算調整勘定	△310	△231
退職給付に係る調整額	138	99
その他の包括利益合計	△1,044	675
四半期包括利益	△3,278	△1,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,238	△1,491
非支配株主に係る四半期包括利益	△40	△3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,379	△2,951
減価償却費	2,099	2,164
のれん償却額	146	135
引当金の増減額(△は減少)	△3,229	△3,652
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	280	646
受取利息及び受取配当金	△347	△272
支払利息	221	128
持分法による投資損益(△は益)	△18	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△365	—
売上債権の増減額(△は増加)	38,906	43,994
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,914	△8,939
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,243	△14,151
その他	△1,370	△1,690
小計	14,785	15,411
利息及び配当金の受取額	398	272
利息の支払額	△186	△92
法人税等の支払額	△2,560	△2,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,436	12,960
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,080	△3,476
投資有価証券の売却による収入	254	24
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,649	—
その他	△153	65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329	△3,386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,643	△304
長期借入れによる収入	91	—
長期借入金の返済による支出	△0	△3
配当金の支払額	△983	△997
非支配株主への配当金の支払額	△3	△66
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△521	—
その他	△13	39
財務活動によるキャッシュ・フロー	212	△1,332
現金及び現金同等物に係る換算差額	△157	58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,161	8,299
現金及び現金同等物の期首残高	12,433	12,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,594	20,920

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間において、新たに設立した明電ナノプロセス・イノベーション株式会社及びMeiden America Switchgear, Inc. を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	社会イン フラ事業	産業シス テム事業	保守・ サービス 事業	不動産 事業	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,318	11,772	4,836	805	35,731	2,420	38,151	—	38,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	541	756	241	65	1,605	1,937	3,543	(3,543)	—
計	18,859	12,528	5,077	870	37,336	4,357	41,694	(3,543)	38,151
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△3,308	119	△430	353	△3,265	59	△3,205	(437)	△3,642

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の製品販売、従業員の福利厚生サービス、化成製品等を提供する事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△437百万円には、セグメント間取引消去144百万円、たな卸資産の調整額46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△627百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発部門等で行っている研究開発にかかる費用等であり、
3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	社会イン フラ事業	産業シス テム事業	保守・ サービス 事業	不動産 事業	小計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,135	7,937	4,400	800	34,274	1,891	36,165	—	36,165
セグメント間の内部 売上高又は振替高	409	570	280	65	1,326	1,799	3,125	(3,125)	—
計	21,545	8,508	4,680	865	35,600	3,691	39,291	(3,125)	36,165
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△1,916	△522	△510	357	△2,592	△92	△2,684	(336)	△3,021

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他の製品販売、従業員の福利厚生サービス、化成製品等を提供する事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△336百万円には、セグメント間取引消去107百万円、たな卸資産の調整額81百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△524百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発部門等で行っている研究開発にかかる費用等であり、
3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当社は、2020年4月1日付で明電ナノプロセス・イノベーション株式会社を設立いたしました。これに伴い、前連結会計年度まで「保守・サービス事業」に含まれておりました当該事業は、当第1四半期連結会計期間より「その他」の区分に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間の「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」につきましては、当該変更後の金額に組替えて表示しております。